

四日市港管理組合 平成19年度当初予算 主要事業の概要

(単位:千円)

政策1 背後圏の産業を物流面から支え、地域経済の進展に大きく貢献する港づくり
4,463,317 千円

施策1 港湾サービスの提供と利便性の向上 357,564 千円

港湾荷役推進費 110,825 (うち【特会】96,247) 139,870

円滑な港湾活動の実施を目的とし、港湾施設(クレーンなどの荷さばき施設、上屋等)の適切な管理・運営を行う。具体的な経費としては、施設の光熱水費や保守経費等。

○港湾利用サービスの向上推進 61,000【特会】 港湾機能高度化施設整備事業費補助金 36,456

コンテナ物流円滑化共同利用施設(共同デポ)整備に伴い、第3セクターである四日市国際物流センター株式会社(YFC)に対し助成を行う。

18~20年度事業を18~19年度事業へ前倒し。YFCと国と組合がそれぞれ1/3負担。

○ポートセールス及び航路誘致の推進 60,349 (うち【特会】50,000)

内訳・ポートセールス事業費 10,349(利用促進協議会負担金 4,500含む)

・北米等基幹航路コンテナ船寄港誘致事業費補助金【特会】50,000

四日市港の利用拡大を図るため、官民の連携のもと航路誘致活動、集荷拡大への取組を行う。また、北米等基幹航路誘致のため、四日市港を利用する船社に対して、その寄港に要する経費の一部を助成する。

60,474 内訳・ポートセールス関係 10,474

・基幹航路誘致補助金 50,000

施策2 港湾利用の促進 5,174 千円

上記施策1「ポートセールス及び航路誘致の推進」の一部

施策3 港湾活動にかかる安全の確保 177,579 千円

○改正 SOLAS 条約対策の推進 83,888 117,899

改正 SOLAS 条約の要請にそった、保安設備の維持管理、水域・陸域の警備等、港湾の保安対策を行う。

施策4 港湾経営基盤の充実・強化 3,923,000 千円

○霞ヶ浦北ふ頭国際海上コンテナターミナルの整備 1,200,000【特会】 1,600,000

平成17年度竣工80号岸壁背後地の土地造成(地盤改良工事約5ha)を行い、国際海上コンテナターミナルの整備を進める。

H18~22 総事業費 45億円(起債事業)

○霞ヶ浦北ふ頭81号岸壁にかかる基礎調査 21,000【特会】(~ の2ヵ年で30,000千円)

霞ヶ浦北ふ頭81号岸壁の整備について、貨物取扱量見込み、整備期間・概算事業費、建設費縮減方策の可能性、整備効果(経済効果、投資効果)に関する調査を実施する。

○岸壁の改修 400,000

千歳地区15号岸壁について、老朽化が進行しているため、地盤改良工による液状化対策を行う。

国補港湾改修事業(国1/2) 80,000(手法検討の実施)

H16~22 総事業費 25億800万円(H19~H22:21億9,200万円)

○港湾施設の改修 307,000(うち【特会】130,000)

荷さばき地等の港湾施設の部分改良、機能増進等を行う。

単独港湾改修事業 30,000(浜園埠頭鋼矢板改修) 32,500

施設改修費【特会】277,000

(荷捌き地オーバーレイ 118,800、W24防塵フェンス設置 145,500等) 299,000(燻蒸含む)

○港湾施設の維持補修 395,000(うち【特会】60,000) 547,644(うち【特会】80,000)

水域施設、けい留施設、臨港交通施設、上屋、荷さばき地等の港湾施設の維持補修を行う。

国補港湾施設維持補修費 279,000

(は1号岸壁の補修 は岸壁補修終了により護岸補修を行う)

<補助率1/3 一般公共事業費 90%> 339,000

港湾施設維持補修費 56,000(エプロン・防舷材取替等 34,222・他各種維持補修経費)

128,000

港湾施設維持補修費【特会】60,000(上屋等補修ほか) 67,000

○霞防波堤の整備(国直轄事業)80,000(事業費ベース 240,000 地方負担1/3)

霞ヶ浦北ふ頭前面泊地の静穏度を確保する国直轄事業「霞防波堤」の整備を進める。

(国直轄事業負担金の負担)

80,000(事業費ベース 240,000)

H14~H22 総事業費9億円(H18~H22:5億1,000万円)

○霞4号幹線の整備(国直轄事業)1,480,000(国事業費ベース 4,440,000 地方負担1/3)

四日市港霞ヶ浦地区と第2名神高速道路を結ぶ国直轄事業「霞4号幹線」の整備を進める。(国直轄事業負担金の負担)

H16~22 総事業費 269億円(H18~H22:243億円)

3月補正後 1,020,000(国事業費ベース 3,060,000)

政策2 災害に強く、県民や市民の安全・安心を支える港づくり 729,395 千円

施策1 地震・高潮・津波等災害対策の推進 729,395 千円

○海岸保全施設整備(耐震計画) 20,000 塩浜地区

海岸保全施設について、引き続き耐震検討及び地質調査を行う。

H16年度から継続実施 30,000

○高潮対策(護岸の補強) 460,000 国補海岸高潮対策事業費 400,000

富田港地区・富洲原港地区・石原地区の高潮対策(護岸の補強)を行い、背後地域住民の安全確保を図る。

- ・富田港地区：海岸保全施設の整備(護岸築造約60m) 300,000千円
- ・富洲原港地区：同上(歩道整備約280m) 30,000千円
- ・石原地区：同上(護岸補強60m) 100,000千円
- ・2号地地区：同上(耐震補強設計) 30,000千円

富田港地区(L:358m) H13~20 総事業費12億1千万円

(H19~20 6億円)

富洲原港地区(L:1,266.4m) H5~26 総事業費29億円

(H19~26 8億4,600万円)

石原地区(L:579m) 120,000千円 総事業費13億5,000万円

(H19~23 11億300万円)

○津波危機管理対策の実施 100,000 国補海岸津波危機管理対策緊急事業費(国1/2補助)

津波対策として、水門に遠方監視制御装置を設置する。(稲葉水門遠隔操作化の完成)

39,000 遠隔操作化設計(稲葉水門・新富洲原水門) 新富洲原水門は 完成予定

政策3 多くの県民や市民が訪れ、身近に感じられる港づくり 99,118 千円

施策1 環境と共生した魅力ある港空間の形成 82,324 千円

○緑地・公園の維持管理 66,462 237,910(富双公園整備173,000あり)

霞ヶ浦緑地、霞港公園、シドニー港公園、富双公園等の維持管理費。

○水質保全対策の実施 13,935 (うち【特会】7,016) 【一般会計】7,295 環境調査推進費

【特別会計】10,619(同上)石原・北ふ頭

四日市港の水質・底質状況の把握及び埋立工事の環境監視のため、水質・底質調査を実施する。

施策2 港とふれあう機会の拡大 16,794 千円

○各種イベントの開催 1,090

イベント交流事業費 / イベント事業費 1,090

「港まつり」をはじめとする各種イベントの開催により、県民・市民が四日市港とふれあう機会を提供する。

○展望展示室の運営 13,558 展望展示室運営事業費 / 15,268 (ポートビル有効利用推進費)

多くの人々が四日市港に足を運び、親しみながら港を知ることができるよう、ポートビル内に設置した展望展示室の効率的な運用に努める。19年度からは団体割引制度導入(20人以上で2割引)。

入場料収入予算額 4,000 / 4,000

・総入場者数 : 34,176人 33,720人 見込 35,000人

・有料入場者数 : 14,225人 12,948人 見込 14,000人

○広報・情報発信の活動 2,146

広報・情報発信事業費 / 2,391

四日市港に関する理解を深めていただくため、「四日市港ニュース」や各種パンフレットの作成により、四日市港に関する情報の発信を行う。

四日市港要覧、PORT of YOKKAICHI、四日市港ニュースなど

その他

○四日市港港湾計画調査 63,000 20,500

平成30年代前半を目標年次とする港湾計画の改訂に向けての資料作成、その他一部変更に対応するための各種基礎資料作成、長期構想検討委員会の開催等を実施する。